



○ 教育実習

教諭免許取得のために、2年生の幼稚園教育実習が始まります。まず2週間です。学生たちはこれまでにそれぞれの実習先と打ち合わせをしてきました。本番では緊張することでしょう。教育実習ですから「指導案」を作成して臨まなければなりません。私は40年前のことを思い出しています。中学校での美術科の教育実習でしたが、担当の先生から「実習期間の美術の授業時間はみんなまかせるからよろしくね。それと道徳の授業もしてね。」と言われ、「お手本はないの?」と思って不安になりました。でもやるしかありません。2週間が2か月のように感じたことを今思い出しています。

私自身の経験を鮮明に思い出せるというのは、本当に貴重で大切な学びとなったからだと思います。「あの時こんな失敗をしたな。」「あの言葉遣いではなく、違う表現にすればよかったな。」とかマイナスのことばかり思い出されますが、それが現在の自分を作っているといっても過言ではないでしょう。学生たちには「しっかりと準備をして、失敗を恐れずに実践してきてほしい。」と願っています。

本日4時限目に「教育実習結団式」を行いました。スーツを着て参加している学生の姿はりりしくかっこいいです。眼も輝いています。このような立派な姿を披露できるのはひょっとしたら今しかないかもしれません。失敗を恐れずに取り組んできてほしいと私は激励のあいさつで伝えました。

自校自賛

週に一度、「キラリ」に訪問してくる幼児たちのために第一の目的として玄関でメダカを飼っています。その親たちの赤ちゃんが現在10匹(だと思えます)元気に育っています。人間の子どもも日に日に成長しますが、メダカの赤ちゃんもそうですね。最初の一匹の時には見つけるだけでも時間がかかるくらい小さかったですが、その“第一子”は体長1cm弱まで大きくなっています。



主に右の方に居ますが、さすがに見えないかな?